

額田の城下町

目次

- 春の逆井城と関宿城 1P
 総会が開催されました。 2P
 市・額田城跡保存管理計画の整備方針の見直し 3P
 活動の記録、今後の奉仕作業 4P

写真（逆井城）

【春の逆井城と関宿城】

三月十七日、毎年恒例の視察研修が行われました。研修に参加した富田芳子さんが、感想を書いてくださいましたので掲載いたします。（会長 武藤博光）

「春風に乗って城巡り」

春つらら、行楽日和。善人たちを乗せてバスは坂東市の逆井城跡に着きました。戦国末期の築城技法を駆使した遺構は、ひと時その時代にタイムスリップしたかの様な面影でした。額田城跡に似た雑木林を構想から二十五年を経てよみがえらせた先駆者たちの夢。大変なご苦労があったことと思います。次に訪れた野田市の関宿城を模倣した天守閣の博物館。利根川と江戸川にはさまれ、度々の洪水に合うも河川交通を生かした産業や文化の発達、流域に生きる人々の生活の歴史が紹介されていました。石高の違いこそあれ、水戸藩に負けぬ働きをした久世藩主への想いを力説するボランティアさんが印象に残りました。

城跡二ヶ所の程よい散策見学は、昼食を格別美味しくさせました。それにも増して美味しかったのはアサヒビール工場での試飲（笑）。広大な敷地での徹底した管理の元での工程見学四十分後、初夏の陽気も手伝って、「ウマイ」と…。会社の意図に上手に乗せられましたね。

額田城保存会の皆様の夢も、少しずつ形になってきて、その一致団結したご努力。やがて観光ボランティアさんが誇らしく案内する日が楽しみです。

今回も又、真心いっぱい城跡視察研修バスに参加させていただきありがとうございます。（富田芳子）



逆井城（さかさいじょう・茨城県坂東市）は、戦国時代末期1557年に北条氏の北関東進出の拠点として築城された城です。関宿城（せきやどじょう・千葉県野田市）は、さらに古く室町時代1457年に古河公方足利氏の家臣・梁田氏により築城され、古河公方勢力の拠点となりました。1574年、梁田氏は上杉謙信・佐竹義重の助けを受けながらも北条氏との争いに敗れ、関宿城は北条氏に奪われました。北条氏は、関宿城から北東へ約9km離れた地に逆井城を築城し北関東進出の拠点としましたが、1590年の豊臣秀吉による小田原攻めで北条氏が滅ぼされると、逆井城は廃城となり、関宿城は徳川家康に与えられました。

総会が開催されました。

4月18日、額田中央公民館にて平成27年度額田城跡保存会総会が開催されました。平成26年度活動報告・決算報告及び平成27年度活動方針案・予算案は全て原案どおり認定・可決しました。また、海野徹市長を始め市執行部、仲田昭一館長、成田昭夫まちづくり委員長、萩谷俊行議員らが来賓として総会に出席しました。

海野市長からは、保存会及び地域の皆さんによる活動により、荒れ地だった城跡が散策できるまで改善されたことについて感謝の言葉をいただきました。

今後、市としては、平成24年3月に策定された額田城跡保存管理計画に基づき、城跡を正しく後世に残すため支援をしていくそうです。



(来賓あいさつする海野市長)

平成26年度決算の状況をお知らせします。

収入の部

項目	予算額(円)	決算額(円)	差引増減(円)	摘要
前年度繰越金	170,674	170,674	0	
年会費	95,000	82,000	△13,000	82戸×1,000円
賛助会費	64,000	65,000	1,000	65戸×1,000円
助成金	0	0	0	
雑収入	30,000	16,060	△13,940	安西弘志 様 10,000円 加藤美千代 様 3,000円 特別会員 3,000円 (船橋保様、富岡銀治郎様、富岡満男様) 預金利子 60円
合計	359,674	333,734	△25,940	

支出の部

項目	予算額(円)	決算額(円)	差引増減(円)	摘要
会議費	30,000	9,835	△20,165	会場借用代等
事業費	265,000	181,600	△83,400	奉仕作業、機材整備、会報紙発行、視察研修等
事務費	25,000	11,492	△13,508	
予備日	39,674	0	△39,674	
合計	359,674	202,927	△156,747	

(収入合計) 333,734円 — (支出合計) 202,927円 = (差引残高) 130,807円

差引残高の130,807円は、平成27年度に繰り越します。

「額田城跡保存管理計画の整備方針の見直しについて」

4月18日に開催された額田城跡保存会総会で、平成27年那珂市議会第1回定例会・教育厚生常任委員会で示された資料「額田城跡保存管理計画の整備方針の見直しについて」が武藤博光会長より説明されました。

額田城跡は、現計画、平成24年3月に策定された額田城跡保存管理計画（5年間）の整備方針では「厳しい財政状況のなかで土地の公有化は困難と考え、現状保存で進める。それぞれの立場で協力して整備を進める。」となっています。今後、額田城跡を歴史的な自然公園として整備し後世に引き継ぐために、平成29年度からの整備方針の見直しを行うそうです。

保存管理計画（第2期）見直しの基本的な方向性

1. 計画期間 平成29年度から平成33年度の5年間

2. 基本目標

◎管理理念～関係者及び市の「協働による管理」を目指す。

◎保存管理の方針～指定区域内の土地を公有化することにより歴史的な自然公園として整備し、貴重な歴史的財産を次代に残す。

3. 整備計画

A：土地の公有化について

1) 土地の公有化を図る必要性

- ① 伊達政宗からの起請文・額田城陥没之記など新たな歴史資料の発見や、小野崎系額田氏の系譜が公開され系統が明らかになったこと。
- ② 新たな資料発見等により話題性が高まりそれに伴い来訪者が多くなったこと。
- ③ 市の施策として整備が求められていること。
- ④ 城郭規模等を把握するための発掘調査の実施。（本丸跡）
- ⑤ 平成10年の指定時に、指定に係る町対応について地権者に「将来的には、土地を町で買収し、城跡公園として整備し保存を図る」旨の説明をしている。

2) 公有化の年次計画

現在の財政状況のなかでは、文化財指定区域全体を買収するのは困難であるため、次期計画においては本丸跡を中心に公有化し整備促進を図る。本丸については、財政状況を考慮し平成31年度までに段階的に公有化する。堀・土塁については、本丸跡の買収後に段階的に公有化することにし、買収時期についてはその後の計画で検討する。二の丸跡については、整備状況や財政状況を踏まえて将来的には指定区域全体を公有化する。

B：学術調査（発掘調査）

額田城の城館等について配置や規模等の記録はなく不詳だが、本丸跡は全体が同一面ではなく、建造物があつたと思われる部分が一段高くなっている。往時の状況を確認し保存管理するうえでも発掘等による調査が必要である。

C：文化財指定区域内の不燃物撤去

昭和50年頃に旧那珂町が安定廃棄物として不燃ごみを投棄した経緯があり、撤去について次期保存管理計画の見直し時に関係部署と検討していく。

D：周辺地域の整備

額田城跡周辺には額田神社や阿弥陀寺^{あみだじ}、^{りんしょういん}麟勝院、^{びるしやなじ}毘盧遮那寺などの神社仏閣や鈴木家住宅（県指定）・鈴木家のヒイラギ（市指定）などの文化財が点在している。城跡来訪者が使える駐車場とトイレが額田地区交流センターに整備されたが、他に大型車の駐車場やトイレの整備も必要である。周辺のアクセス道路も狭隘であり、これら周辺地域を含めた一体的な整備を検討していく。

活動の記録

- 1/24 花清から頂いた桜苗定植 (11本)
- 2/ 9 ハナショウブの移植 (約200本)
- 2/12 会報第32号発行
- 3/14 奉仕作業 参加者 18名
- 3/17 春の逆井城と関宿城視察研修 参加者 34名
- 4/18 奉仕作業と総会 参加者 35名
- 5/16 奉仕作業 参加者 18名
- 5/17 奉仕作業 参加者 17名



写真 (スポーツ少年団の皆さん)

【今後の奉仕作業】

6月20日 (第3土曜日) 8:00~10:00
 7月4日 (第1土曜日) 8:00~10:00
 7月18日 (第3土曜日) 8:00~10:00
 8月22日 (第4土曜日) 8:00~10:00
 9月19日 (第3土曜日) 8:00~10:00
 10月17日 (第3土曜日) 8:00~10:00
 11月21日 (第3土曜日) 9:00~11:00

12月19日 (第3土曜日) 9:00~11:00
 1月 休み
 2月 休み
 3月19日 (第3土曜日) 9:00~11:00

作業内容は、二の丸花畑の手入れ、芝生内外の除草、遊歩道の清掃や安全点検などです。

【募集しています。】

☆ 夏のボランティア体験を募集します。

○活動日時：8月22日 (土)

午前8時~11時

○集合場所：額田地区交流センター

○募集対象：小学生、中学生、高校生、
大・短・専門学生、社会人

○申し込み先：那珂市社会福祉協議会 電話 029 (229) 0309 【参加費 500円】

※額田城跡保存会は、那珂市社会福祉協議会のボランティアサークルに登録しています。



夏のボランティア：棚田整備 (昨年)

編集後記

奉仕作業を終え、みんなで食べたアイスクリームは格別においしかったです。これも楽しみのひとつですね。皆さんも一緒に汗をかいてみませんか。



☆ 会報「額田の城下町」に掲載する話題を募集しています。

地域の話題・特技・趣味など紙面にて紹介いたします。是非応募ください。応募は、「額田城跡保存会 行」と記入して額田地区交流センターのポストに投函してください。